

2章

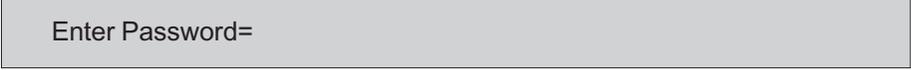
電源を入れて切るまで

電源を入れてパソコンが、システムを組み込むまでを、「パソコンの起動」といいます。

本章では、パソコンの起動と電源を切って終了する方法について説明しています。

パスワードが設定されている場合

パスワードが設定されている場合は、電源を入れると次のメッセージが表示されます。



Enter Password=

設定したパスワードを入力し、**[Enter]** キーを押してください。

- メモ
- ・パスワードの入カミスが3回繰り返した場合、以降の入力ができなくなります。
 - ・その場合は、システムを再起動してください。
 - ・⇒「6章 BIOSセットアップ **[4]**Security (セキュリティ)メニューの詳細」

2 初めて電源を入れるときは

パソコン本体の電源を初めて入れるときは、「Windowsセットアップ」の操作が必要です。この操作は、インストール後初めて電源を入れるとき1回限りです。1度、Windowsのセットアップをすれば、以降は、電源を入れるとすぐにWindowsを使用することができます。

「Windowsセットアップウィザード」に従って次のことを行います。

Windowsパスワードの入力

ユーザ名とパスワード（省略可能）を登録します。

ユーザー情報の登録

名前と会社名（省略可能）を登録します。

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書（Windowsのライセンス）

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾書の内容をお読みにになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、同意するを選択しないと、Windowsを使用することはできません。

Certificate of Authenticity プロダクトキー入力

『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』表紙のCertificate of Authenticityに印刷されているプロダクトキーを入力します。

日付と時刻の設定

「日付と時刻とプロパティ」画面の「日付と時刻」タブにて、パソコンの日付と時刻を設定します。セットアップ後に変更することが可能です。

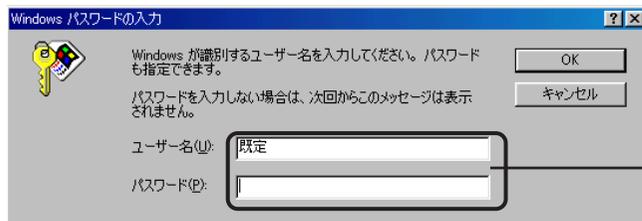
- お願い
- ・ 「Windowsセットアップ」はACアダプタと電源コードを接続して行ってください。
 - ・ 電源の接続について→「1章 ③パソコンの準備 電源に接続する」
 - ・ 「Windowsのセットアップ」を行わないと、あらかじめインストールされているWindowsやアプリケーションを使用することはできません。
 - ・ 「Windowsセットアップ」の動作中は、電源を切らないでください。
- メモ
- ・ 「Windowsセットアップ」を行う前に、30分以上キーを押さない（タッチパッドやマウスの操作も含む）場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。Shiftキーを押すか、タッチパッドやマウスを動かしてください。
 - ・ 「Windowsセットアップ」は、リカバリCDで購入時の状態に戻した場合も必要です。

Windows 98のセットアップ

次の手順に従ってセットアップを行なってください。

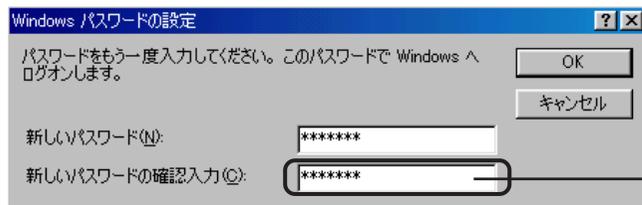
システムの準備を行います。初めて電源を入れると、[Windowsパスワードの入力]画面が表示されます。

1 ユーザー名、パスワードを入力し、**[Enter]** キーを押す



ユーザー名、パスワードを入力

パスワードを入力した場合、[Windowsパスワードの設定]画面が表示されます。



パスワードを入力

新しいパスワードの確認入力時に [Windowsパスワードの入力] 画面にて設定したパスワードを入力してください。

ユーザー名のみ入力する場合はユーザー名のみ入力し、**[Enter]** キーを押してください。

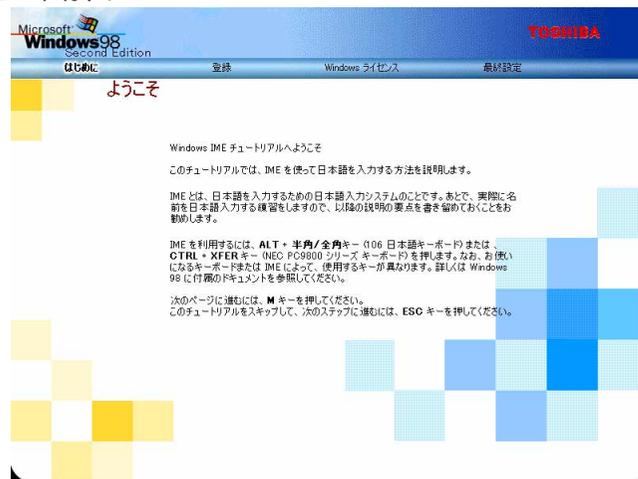
ユーザー名、パスワードを入力しない場合は、そのまま **[Enter]** キーを押してください。

2 [ようこそ]画面が表示されます。

チュートリアルに進む場合は、**[M]**キーを押します。チュートリアルをスキップする場合は **[Esc]** キーを押します。

ここでは **[Esc]** キーを押した場合の手順を説明します。

[ESC] キーを 1 回押す

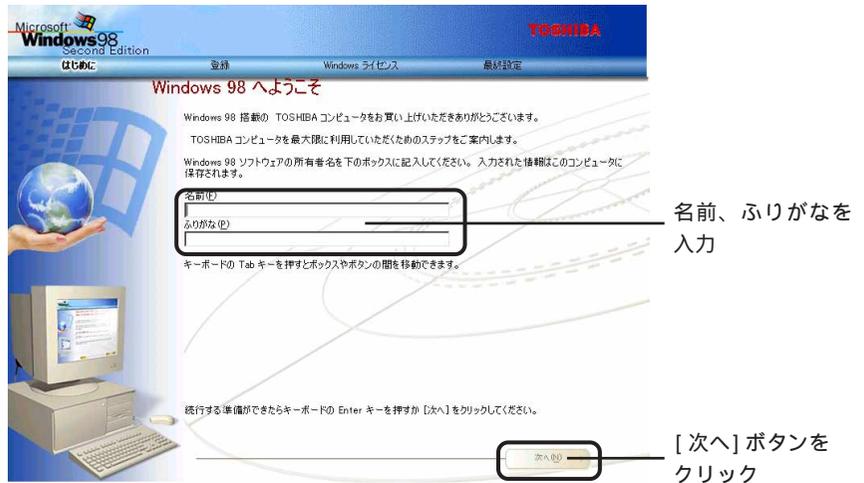


- メモ・**M**キーを押した場合、[読みを入力する]の画面が表示されます。
- 下記画面では、日本語入力システム「ATOK12」を使っての日本語入力練習を行います。
- 以降は、画面の指示に従い、操作してください。



3 [Windows 98へようこそ]の画面が表示されます。

名前とふりがなを入力し、[次へ]ボタンをクリックする



名前は必ず入力してください。ふりがなは省略できます。ふりがなを入力する場合には、名前を入力した後、**Tab** キーを押します。

- ・漢字入力を行う場合は、**Alt** + **半角/全角** キーを押します。

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“東芝”と入力する場合

- 1 **T O U S I B A** とキーを押す

“とうしば”と表示されます。変換したい場合は **Space** キーを押します。

入力ミスをした場合は、**BackSpace** キーを押して入力ミスをした文字を削除してください。

- 2 **Enter** キーを押す

“とうしば”で確定されます。漢字変換した場合は、“東芝”で確定されます。

※カナ入力を入力する場合は **カタカナ/ひらがな** キーを押してカナ入力モードにします。

4 [モデムを使って接続する]の画面が表示されます。

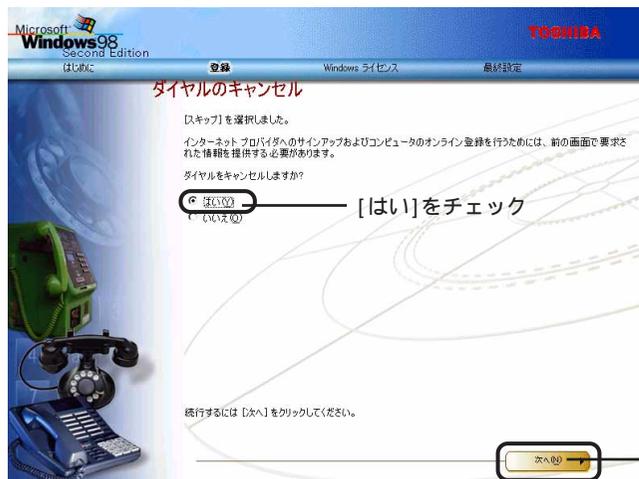
[スキップ]ボタンをクリックする



[スキップ]ボタンをクリック

5 ダイヤルのキャンセル]の画面が表示されます。

画面中央部の「はい」をチェック（左側の 印をクリック）し、[次へ]ボタンをクリックする

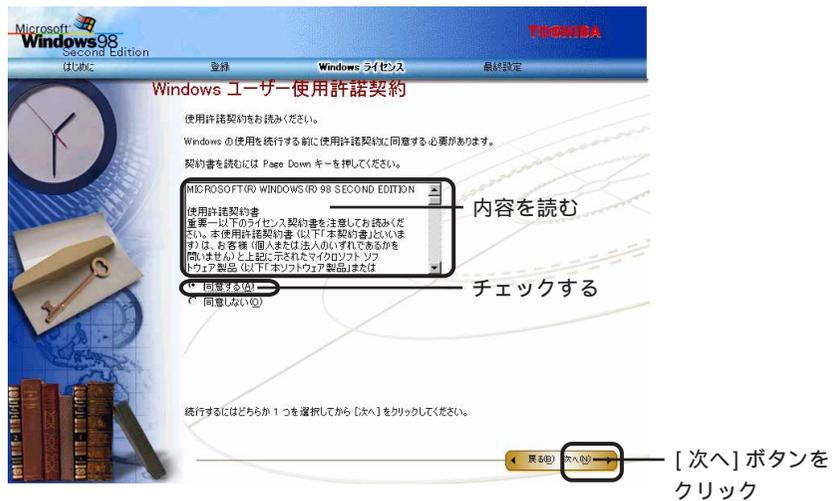


[次へ]ボタンをクリック

6 [使用許諾契約書]の画面が表示されます。

マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書の内容を、必ずお読みください。
表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックするか、**PageUp**キー、**PageDown**キーを使って画面をスクロールしてください。
なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

画面下部の[同意する(A)]をチェック(左側の 印をクリック)して、[次へ]ボタンをクリックする



7 [Windows プロダクトキー]の画面が表示されます。

プロダクトキーを入力し、[次へ]ボタンをクリックする



プロダクトキーは、『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』表紙の Certificate of Authenticityに印刷されています。

【例】 **XXXXX—XXXXX—XXXXX—XXXXX—XXXXX**

入力を間違えた場合は、**BackSpace** キーで文字を削除し、再入力してください。

- お願い
- ・ プロダクトキーは、1 度入力して確定すると変更することはできませんので、正確に入力してください。
 - ・ 『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』は、大切に保管してください。紛失するとWindowsのセットアップはできなくなります。絶対になくさないようにしてください。紛失した場合は、再発行することはできません。

8 [セットアップの完了] 画面が表示されます。

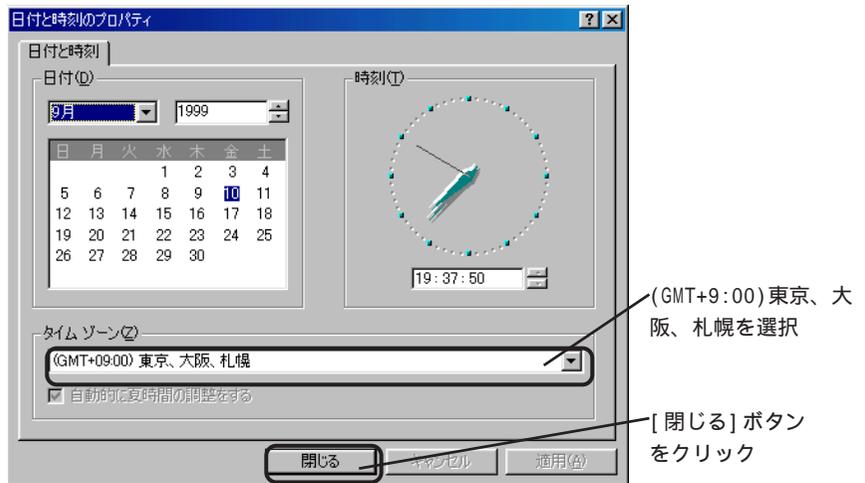
[終了]ボタンをクリックする



9 パソコンの環境設定が終了すると、[日付と時刻のプロパティ]画面が表示されます。

[タイムゾーン]で「(GMT+09:00)東京、大阪、札幌」が選択されていることを確認する

「(GMT+09:00)東京、大阪、札幌」が選択されていない場合は▼ボタンをクリックし、一覧から選択してください。



10 日付および時刻を設定する

設定後、[適用] ボタンをクリックすると、日付および時刻の設定が確定され、パソコンの時計が動作します。

11 [閉じる]ボタンをクリックする

以上でWindows 98のセットアップは終了です。

3 電源の切り方

パソコン本体の電源を切るには、次の4つの方法があります。

電源を切るときに、スタンバイ、または休止状態（ハイバネーション）を実行することができます。

スタンバイ、または休止状態（ハイバネーション）を実行すると、次に電源を入れるときに、切ったときの状態からパソコン本体を使い始めることができます。

⇒スタンバイまたは休止状態（ハイバネーション）→「5章 ①消費電力を節約する」

⚠ 注意

- ・ Disk LED点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスク装置のプッシュボタンやCD-ROM装置のイジェクトボタンを押したりしないでください。データが消失するおそれや、フロッピーディスク装置、CD-ROM装置が壊れるおそれがあります。
- ・ パソコン本体や周辺機器の電源は、切った後すぐには入れないでください。バッテリーが十分に放電するまで、しばらく待ってください。

- お願い
- ・ 周辺機器の電源は、パソコンの電源を切った後に切ってください。
 - ・ ハイバネーション機能が実行されている間は、メモリの内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。その間、Disk LEDが点灯し続けます。LEDが点灯中は、バッテリーパックをはずしたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。
 - ・ スタンバイ、または休止状態（ハイバネーション）を設定していない場合は、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。データが消失するおそれがあります。

方法 1

[スタート]ボタンをクリックし、[Windowsの終了]をクリックする
[電源を切れる状態にする]がチェックされているか確認して[OK]をクリックする
この方法で、電源を切ると、スタンバイ機能は実行されません。

方法 2

[スタート]ボタンをクリックし、[Windowsの終了]をクリックする
[スタンバイ]をクリックし、[OK]ボタンをクリックする
この方法で、電源を切ると、スタンバイ機能が実行されます。
上記1、2の方法は、次のように操作します。

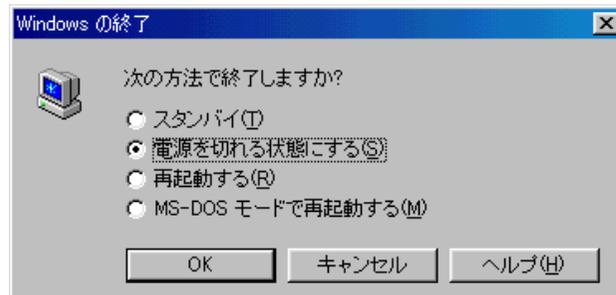
- 1 スタンバイ機能を実行しない場合は、データを保存し、アプリケーションを終了する
- 2 Disk LEDが消灯していることを確認する
- 3 フロッピーディスク、CDなどがセットされている場合は取り出す

4 [スタート]メニューから[Windowsの終了]を選択する

スタートメニューの項目はあらかじめインストールされているアプリケーションの設定により、異なる場合があります。



5 [Windowsの終了]画面で[電源を切れる状態にする]か[スタンバイ]を選択する



[電源を切れる状態にする(S)]を選択した場合、スタンバイ機能を実行しないで電源が切れます。[スタンバイ(T)]を選択した場合、スタンバイ機能を実行して、パソコンの電源が切れます。

方法3

電源スイッチを押す

方法4

ディスプレイを閉じる

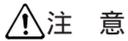
方法3、方法4で電源を切るためには、[コントロールパネル] - [電源の管理] - [詳細]タブの[電源]ボタンの設定が必要です。

出荷状態では、電源スイッチを押したときは「シャットダウン」、ディスプレイを閉じたときは「なし」です。

⇒「5章 便利な機能 ①消費電力を節約する」

4 WayTechプレーヤについて

本製品には、「WayTech」と呼ばれる音楽CDの再生等を行うアプリケーションが標準装備されています。WayTechプレーヤをご使用になるには、以下の手順にてWayTechプレーヤのインストールが必要です。



注意

・WayTechでは、Video CD、AVIファイルを再生することはできません。

再生する場合は、Windows 98に標準の「Windows Media Player」をご使用ください。

WayTechプレーヤのインストール

WayTech Direct CD Playerをセットアップします。このセットアップを行うと、システム動作中において、CD再生パネルの各ボタンが使用できるようになります。

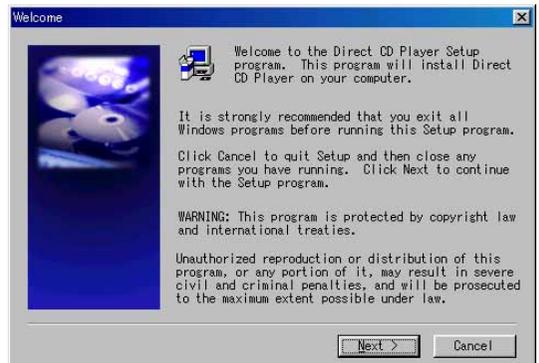
以下の手順に沿って、セットアップをしてください。

メモ・漢字入力を行う場合は、**[Alt] + [半角/漢字]** キーを押すと、漢字入力状態になります。再度、**[Alt] + [半角/漢字]** キーを押すと、アルファベット入力に戻ります。

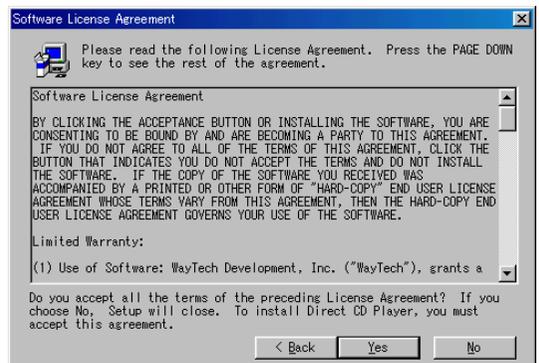
セットアップは途中で中断せずに、最後まで完了させてください。

1 スタートボタン プログラム WayTech Direct CD Player Setupの順にクリックし、セットアッププログラムを起動する

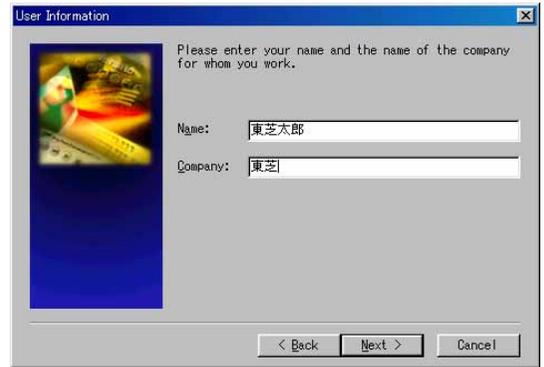
2 右の[Welcome]画面が表示されたら、**[Next>]** ボタンをクリックする



3 右の[Software License Agreement]画面が表示されたら、**[Yes]** ボタンをクリックする



- 4 右の[User Information]画面が表示されたら、名前[Name]と会社名[Company]を入力し、**Next>** ボタンをクリックする



- 5 右のSerial Number入力画面が表示されますので、本書の巻末に貼り付けられている、シリアル番号を入力し、**Next>** ボタンをクリックする



- 6 [Name]、[Company]、[Serial Number]を確認する画面が表示されるので、確認し、間違いが無ければ、**Yes** ボタンをクリックする



- 7 右の[Choose Destination Location]の画面が表示されたら、**Next>** ボタンをクリックする



8 右の[Select Program Folder]の画面が表示されたら、**[Next>]** ボタンをクリックする

セットアップが開始されます。このときマウスやキーボードなど、何も操作しないでください。



10 右の[Setup Complete]の画面が表示されたら、**[Finish]** ボタンをクリックする



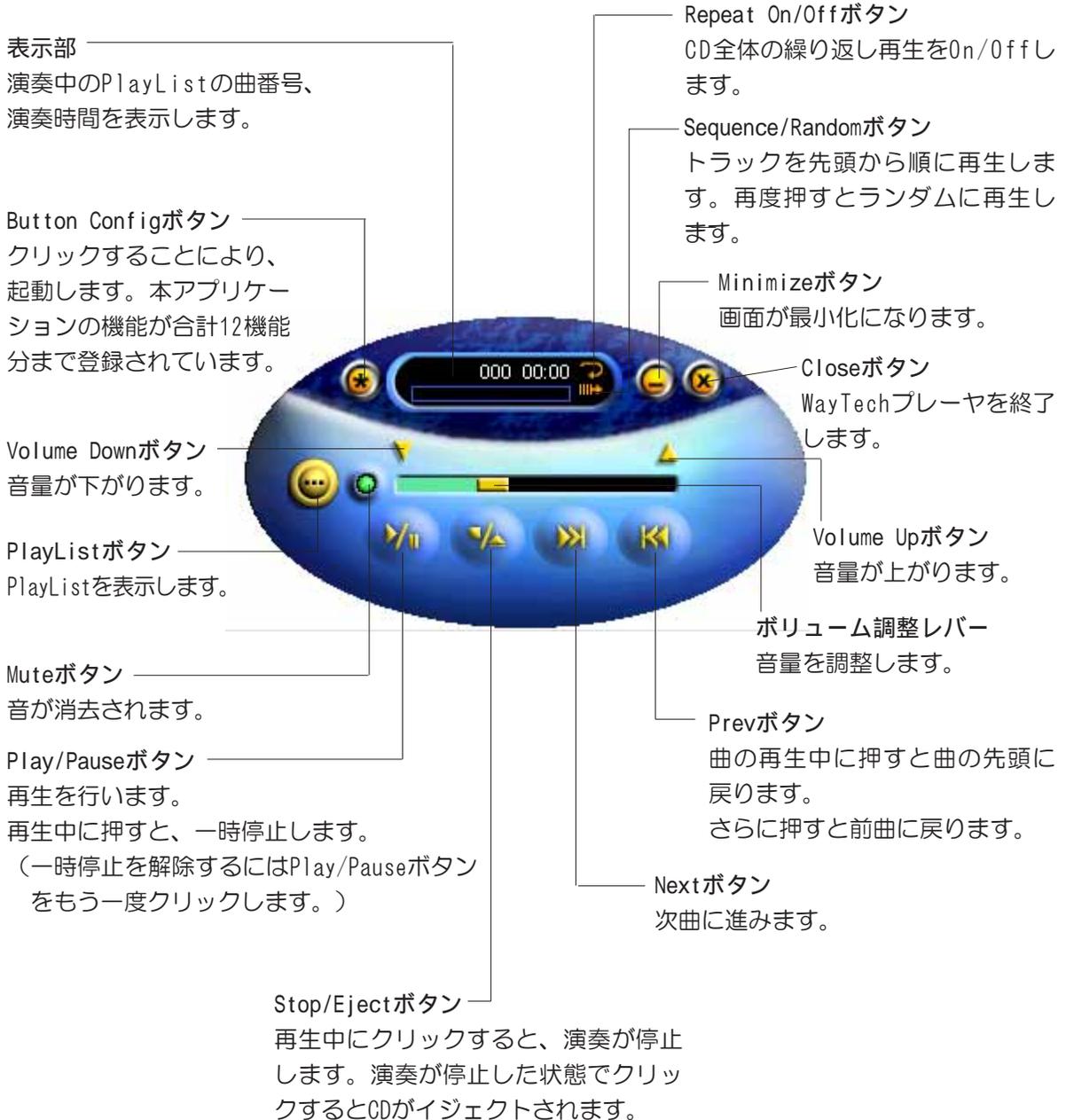
11 右の[WayTech Direct Player]のフォルダが表示されたら、画面右上の**[x]**をクリックし、閉じる



以上でセットアップは完了です。

WayTechプレーヤメイン画面 各部の名称と機能

一度WayTechプレーヤをインストールすると、WayTechプレーヤは、Windows起動時に自動的に起動されます。



Button Configボタンについて

クリックすることにより、以下の画面が表示され、本アプリケーションの機能が合計12機能分まで登録されています。



ボタン	ボタン名	機能
F1	Volume Up	音量を上げます。
F2	Volume Down	音量を下げます。
F3	Fast Foward	数秒先に進みます。
F4	Fast Backward	数秒前に戻ります。
F5	Mute	音が消去されます。
F6	Explorer	Windowsのエクスプローラが起動します。
F7	WWW	ブラウザ（インターネットエクスプローラ）が起動します。
F8	E-Mail	電子メールソフトが起動します。
F9、F10	Utility	各ボタンのユーティリティが起動します。
F11	Scroll Up	上にスクロールします。
F12	Scroll Down	下にスクロールします。

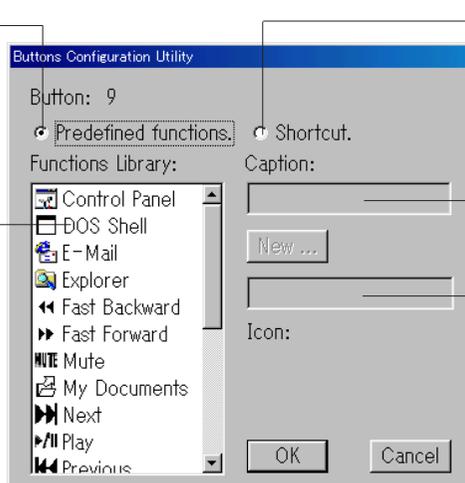
F9、F10をクリックしたときの各ボタンのユーティリティについて

Predefined Functions

登録されている機能より選択する場合は、チェックします。

Functions Library

WayTechのファンクションの一覧が表示されます。



Shortcut

新規にて機能を追加する場合は、チェックします。

Caption

ファイル名を入力します。

Icon

アイコンのファイル名を入力します。

PlayListボタンについて

クリックすることにより以下の画面が表示され、各トラックの演奏の順番を編集できます。

Selected Item(s)Upボタン

選択されたリストが上へ移動されます。

Save PlayListボタン

PlayListが保存されます。

Open PlayListボタン

リストを開きます。

New PlayListボタン

リストを新規作成します。

PlayList Optionボタン

リストのオプション設定をすることができます。

Add Fileボタン

リストを保存フォルダへ保存することができます。

Add Directoryボタン

リストが保存されているフォルダを指定し、追加することができます。

Selected Item(s)Downボタン

選択されたリストが下へ移動されます。



Delete Selected Item(s)ボタン

リストを削除することができます。

OKボタン

設定内容が保存されます。

Cancelボタン

設定内容が保存されずにメイン画面に戻ります。

※Cancelボタンで戻るとPlayList画面を開いたときに再生していた曲の先頭に戻ります。

5 ジャストホームについて

本製品には、「Justsystem Home」と呼ばれるワープロ、電子メール、はがきソフト、電子アルバムなどの便利で楽しいソフトが1つになったご家庭専用アプリケーションが標準装備されています。ジャストホームをご使用になるには、以下の手順にてジャストホームのインストールが必要です。

ジャストホームのインストール

ジャストホームをセットアップします。
以下の手順に沿って、セットアップをしてください。

メモ・漢字入力を行う場合は、**Alt** + **半角/漢字** キーを押すと、漢字入力状態になります。再度、**Alt** + **半角/漢字** キーを押すと、アルファベット入力に戻ります。

セットアップは途中で中断せずに、最後まで完了させてください。

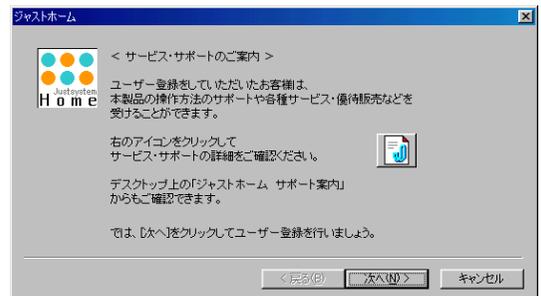
1 デスクトップ上にある [Justsystem Home] アイコン () をダブルクリックする

右の [ようこそジャストホームへ] 画面が表示されます。



2 [次へ]ボタンをクリックする

右の [サービス・サポートのご案内] 画面が表示されます。



3 [次へ]ボタンをクリックする

右の[オンラインユーザー登録のご案内]画面が表示されます。本アプリケーションのユーザー登録を行うことができます。

- ・「ユーザー登録は後で行う」

本製品付属の登録用紙「J-Sheet」

参照により、FAX、またはポストに投函してのユーザー登録を行う場合にチェックしてください。

- ・「JustNetに入会した後、インターネットに接続し、ユーザー登録を行う」

JustNetに加入する場合にチェックしてください。

チェック後、パソコン本体内蔵のモデムが電話回線に接続されていることを確認してください。

⇒「4章 ハードウェアについて ⑥電話回線への接続」

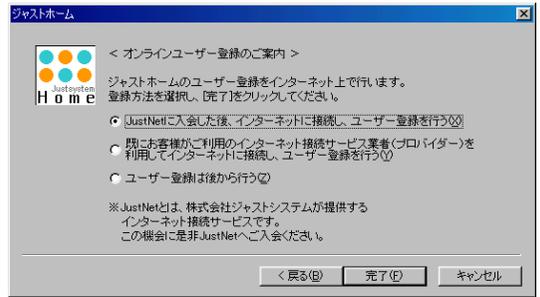
- ・「既にお客様がご利用のインターネット接続サービス業者（プロバイダー）を利用してインターネットに接続し、ユーザー登録を行う」

既にインターネットプロバイダーに加入済みの場合にチェックしてください。

チェック後、パソコン本体内蔵のモデムが電話回線に接続されていることを確認してください。

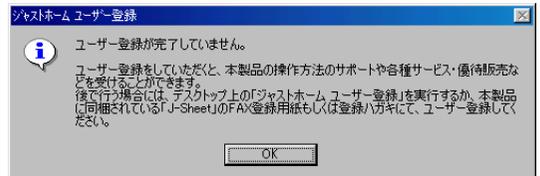
⇒「4章 ハードウェアについて ⑥電話回線への接続」

ここでは「ユーザー登録は後で行う」を選択した場合の手順を説明します。



4 [完了]ボタンをクリックする

右の[ジャストホームユーザー登録]画面が表示されます。

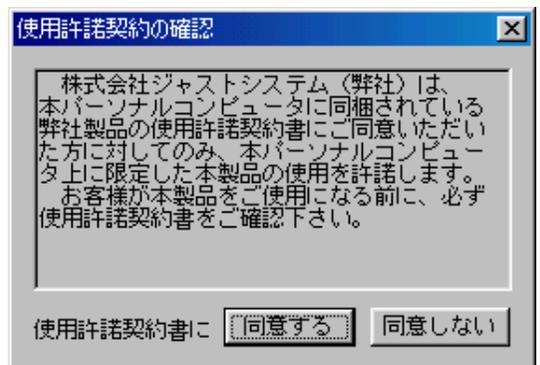


5 [OK]ボタンをクリックする

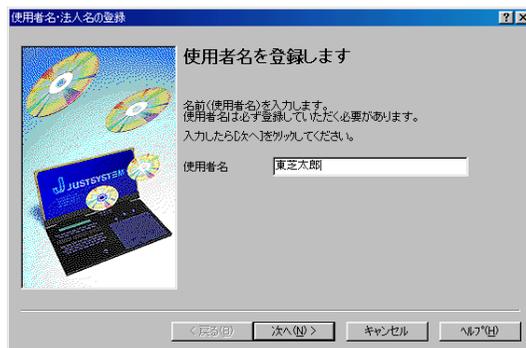
一度終了します。

6 デスクトップ上にある [Justsystem Home] アイコンをダブルクリックする

右の[使用許諾契約の確認]画面が表示されます。

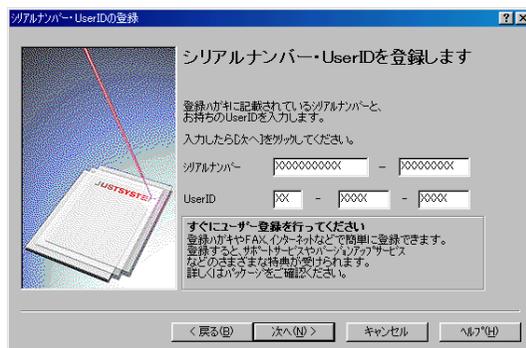


- 7 [同意する]ボタンをクリックする
右の[使用者名の登録] 画面が表示されます。



- 8 使用者名を入力し、[次へ]ボタンをクリックする
右の[シリアルナンバー・UserIDの登録]画面が表示されます。

- ・ シリアルナンバー
本製品付属の登録用紙「J-Sheet」に記載されていますのでご参照ください。
- ・ UserID
UserIDをお持ちでない場合は、空白のままにしてください。



- 9 シリアルナンバー、UserIDを入力し、[次へ]ボタンをクリックする
右の[使用者名・シリアルナンバーの確認]画面が表示されます。



- 10 内容を確認し、[完了]ボタンをクリックする
本アプリケーションのガイドメニューが表示されます。
以降の操作方法については、ガイドメニューに表示されているヘルプ等を参照してください。

以上でジャストホームのインストールは終了です。

3章

バッテリーの使い方

バッテリーを使用することにより、コードレスの状態でパソコン本体を使用することができ、外へ持ち歩いたりするときに大変便利です。
本章では、バッテリーの使い方について説明します。

1 バッテリーを使う

バッテリーを充電して、または充電したバッテリーパックと交換して、コードレス（ACアダプタを接続しない状態）で使うことができます。

⇒バッテリーの充電→「1章 4バッテリーの充電」

⇒バッテリーパックの交換→「本節 バッテリーパックを交換する」

注意 ・バッテリーは東芝純製バッテリー（TOSHIBA RECHARGEABLE BATTERY）を必ずご使用ください。

バッテリー充電量を確認する

コードレスで使う場合、バッテリー充電量を確認しておかないと使用中にバッテリーの充電量が減少し、途中で作業を中断したり、あわてて電源コードを接続することになります。バッテリー充電量を確認するには、次の2つの方法があります。

Battery LEDで確認する

ACアダプタを接続している場合、Battery LEDが緑色に点灯すれば充電完了です。

コードレスで使用している場合、Battery LEDが赤色に点灯、または点滅し、警告音が鳴った場合は、バッテリーの充電が必要です。

⇒Battery LED→「1章 4バッテリーの充電 バッテリーに関する表示」

電源メーターで確認する

タスクバーの電源メーターアイコン（）の上にマウスポインタを置くと、バッテリー充電量が表示されます。

●ACアダプタを接続している場合



●ACアダプタを接続していない場合



また、ダブルクリックすると、電源メーターの画面が表示されます。

電源メーターアイコン（）が表示されていない場合は、[コントロールパネル]-[電源の管理]をダブルクリックすると、電源のプロパティが表示されます。[詳細]タブで[アイコンをタスクバーに常に表示する]をチェックすると、タスクバーに電源メーターアイコンを表示します。

バッテリーの使用時間

電源として使われるバッテリーの使用時間は、充電量や使用状態により多少差があります。

注意 ・コードレスで使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。
 バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）を使い切ってしまうと、スタンバイ機能が効かなくなり、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。また、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、一度、全バッテリーを充電するために、ACアダプタを接続して充電してください。

バッテリーでの使用時間は、パソコン本体の使用環境によって異なります。
 次の時間を目安にしてください。

充電完了の状態で使用した場合

省電力モード	動作時間
フルパワー	約2.2時間

（注）当社オリジナルプログラムで計測

未使用時の保持期間

パソコン本体を使用しないで放置していても、バッテリー充電量は少しずつ減少します。
 この場合も放置環境等に左右されますので、保持期間は、目安にしてください。

フル充電した状態で電源を切った場合

パソコン本体の状態	保持期間
スタンバイ	約8時間
電源切断 または休止状態（ハイバネーション）	約3週間

バッテリー充電量が減少したとき

電源が入っている状態でバッテリーの充電量の減少が進むと、次のように警告します。

- Battery LEDが赤色に点滅する（バッテリー減少を示しています）
- 警告音（ビーブ音）が鳴る

この場合はただちにACアダプタを接続し、電源を供給してください。

お願い 長時間使用しないで、自然に放電しきってしまったときは、警告音でもBattery LEDでも放電しきったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。

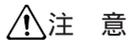
内蔵バッテリー

取りはずし可能なバッテリーパックのほかに、内蔵バッテリーとして、時計用バッテリーがあります。時計用バッテリーは、内蔵時計を動かすためのものです。

時計用バッテリーの充電完了までの時間は、次のとおりですが実際には、充電完了まで待たなくても使用可能です。また、充電状態を知ることはできません。

状態	時計用バッテリー
電源ON (Power LEDが点灯)	約30時間
電源OFF (Power LEDが消灯)	充電しない

- メモ：・休止状態（ハイバネーション）から復帰する際に、時計用バッテリーが切れて
 ・いると、時間の再設定を促すWarning（警告）メッセージが表示されることがあります。
 ・また、休止状態（ハイバネーション）からの復帰が失敗することがあります。



注意

・本製品は、補助バッテリーを内蔵していませんので、スタンバイ、および休止状態（ハイバネーション）機能でバッテリーパックを取りはずすとデータは失われます。

バッテリーパックを交換する



警告

・バッテリーパックは、必ず本製品に付属の製品を使用してください。また、寿命などで交換する場合は、指定の製品をお買い求めください。指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため、発煙、火災のおそれがあります。使用済みのバッテリーパックの処理は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

取りはずし / 取り付け

- 1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

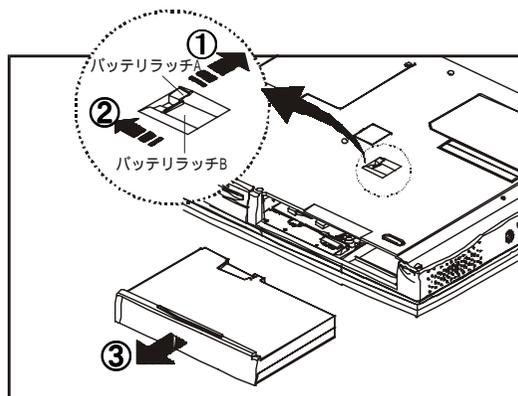


注意

・バッテリーパックの取り付け / 取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。

- 2 パソコン本体に接続されているACアダプタとケーブル類をはずす
- 3 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す

- 4 バッテリラッチAを矢印方向にスライドし、バッテリラッチBを矢印方向にスライドさせながら、バッテリーパックを取りはずす

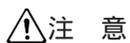
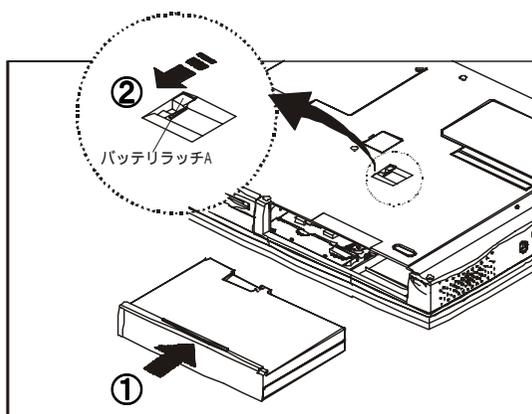


注意

- ・バッテリーパックを保管する場合は、ショート防止のために電極に絶縁テープを貼るなどの対策を講じてください。そのままの状態では保管すると、破裂や火災のおそれがあります。
- ・本体側の電極に手で触れないでください。故障の原因となります。

- 5 交換するバッテリーパックをコネクタの位置に合わせ、静かに挿入し、バッテリラッチAを矢印方向にスライドする

①を行ったとき、「カチッ」と音がしたことを確認してください。



注意

- ・バッテリーパックはしっかりと取り付けられているかどうか、必ず確認してください。正しく取り付けられていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれ落ちて、思わぬケガのおそれがあります。

2 バッテリーを節約する

コードレスで長時間使用するには、次の方法があります。

- バッテリーの充電を完了（フル充電）する
- コードレスで使用した後は、バッテリーを充電しておく
- スタンバイまたは休止状態（ハイバネーション）機能を活用し、こまめに電源を切る
スタンバイや休止状態（ハイバネーション）機能とは、電源を切った後、次に電源を入
れると、以前の状態を再現することができる機能です。
- 入力しないときは、ディスプレイを閉じておく
- 省電力に設定する
⇒省電力設定→「5章 ①消費電力を節約する」

4章

ハードウェアについて

本章では、各ハードウェアについて説明します。
注意事項を守り、正しく取り扱ってください。

1 周辺機器の取り付けについて

本章で説明していない周辺機器については、各周辺機器の取扱説明書を参考にしてください。

取り付け／取りはずしの方法は周辺機器によって違います。各項を読んでから作業をしてください。

⚠ 注意 ・パソコンが動作中に着脱することが認められていない周辺機器を接続する場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行なってください。

- お願い
- ・適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
 - ・湿度やホコリが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
 - ・静電気が発生しやすい環境では作業をしないでください。
 - ・作業時に使用するドライバは、ネジの形、大きさにあったものを使用してください。
 - ・本製品を改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。

パソコン本体へのケーブルの接続

次の点に注意して、接続してください。

- PCカードやコネクタの上下を合わせる
- 固定用ネジがある場合は、ケーブルがはずれないようにネジを締める

お願い：ケーブルなどを接続するときは、コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。

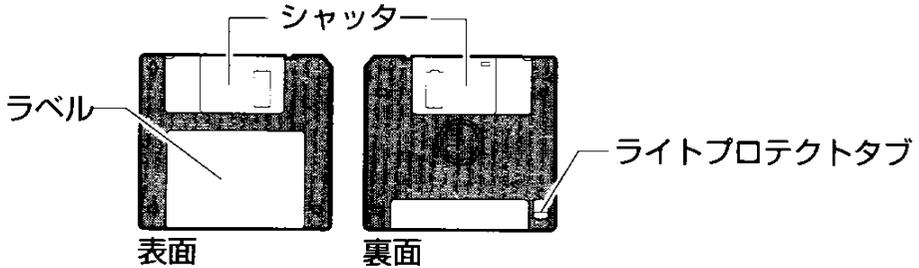
周辺機器を使用するときは、このほかに作業が必要なことがあります。また、その必要な作業は、使用するシステムで異なることがあります。それぞれの周辺機器のマニュアルをご覧ください。

⇒『各周辺機器のマニュアル』

2 フロッピーディスク装置

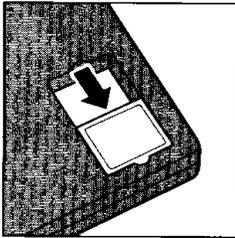
フロッピーディスク

フロッピーディスクは、ライトプロテクトタブを移動することにより、誤ってデータを消したりしないようにすることができます。



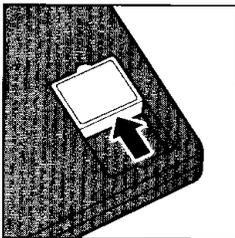
ライトプロテクトタブの状態で、次のようになります。

ライトプロテクトタブの状態



書き込み禁止状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が開いた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みはできません。データの読み取りはできます。



書き込み可能状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が閉じた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みも読み取りもできます。

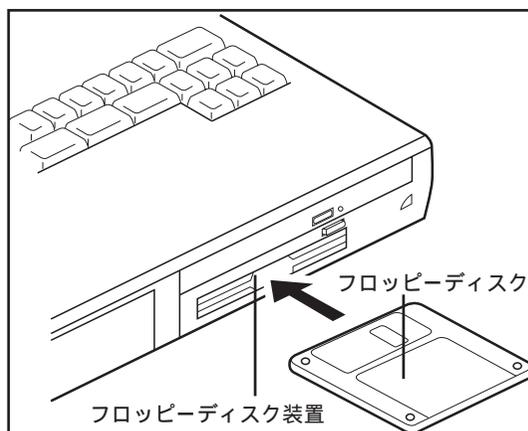
⇒フロッピーディスクの使用について→「日常の取り扱い フロッピーディスク」

フロッピーディスクのセットと取り出し

フロッピーディスクをフロッピーディスク装置に挿入することを「フロッピーディスクをセットする」といいます。

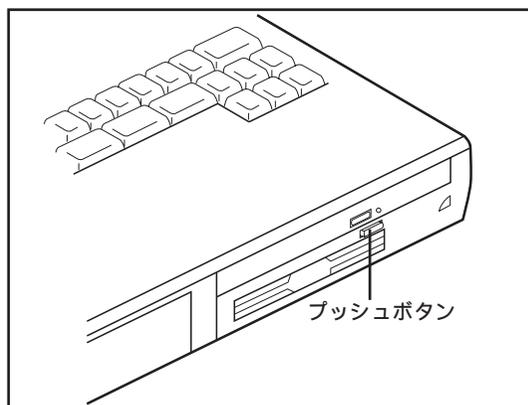
フロッピーディスクのセット

- 1 フロッピーディスクの隅にかかっている矢印の向きに合わせて挿入する
「カチッ」と音がするまで挿入します。正しくセットされるとプッシュボタンが出てきます。



フロッピーディスクの取り出し

- 1 プッシュボタンを押す
フロッピーディスクが少し出てきます。そのまま手で取り出します。



注意 本装置では、1.2MB/1.25MBフォーマットのフロッピーディスクは読み書きできません。

3 CD-ROM装置

使用できるCD

使用できるCDは、次の種類です（読み込みのみ可能です）。

①音楽用CD

8cm、12cmの音楽用CDが再生できます。

②フォトCD

③CD-ROM

使用するシステムに適合するISO 9660フォーマットのものが使用できます。

④CDエクストラ

⑤CD-R

⑥CD-RW

⇒CD-ROMの使用について→「日常の取り扱い コンパクトディスク」

メモ・メディアの特性や書き込み時の特性によって、読み込めない場合もあります。

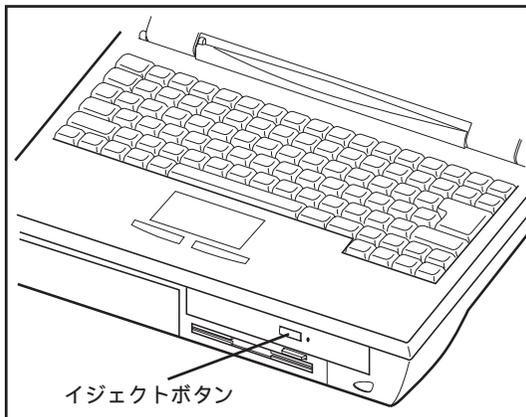
CDのセットと取り出し

注意

- ・CD-ROMトレイ内のレンズに触れないでください。CD-ROM装置の故障の原因になります。
- ・CD-ROMが動作している間は、イジェクトボタンを押さないでください。CDまたはCD-ROM装置の故障の原因となります。

お願い・パソコン本体を携帯するときは、CD-ROM装置にCDが入っていないことを確認してください。入っている場合は取り出してください。

- メモ・CDは、電源が入っているときにセット／取り出しができます。
- ・次の場合は、CD-ROMトレイはイジェクトボタンを押しても出てこない、またはすぐには出てきません。
 - ・電源を入れた直後
 - ・リセットした直後
 - ・CD-ROMトレイを閉じた直後
- これらの場合には、時間を置いてからイジェクトボタンを押してください。



CDのセット

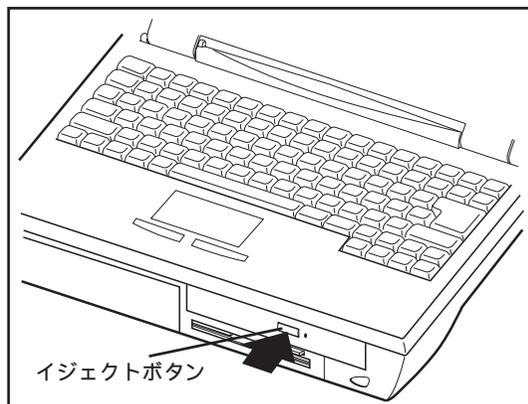
CD-ROM装置へCDをセットするには、次のように行います。

1 パソコン本体の電源を入れる

メモ：電源が入っていないと、イジェクトボタンを押しても、CD-ROMトレイは出てきません。

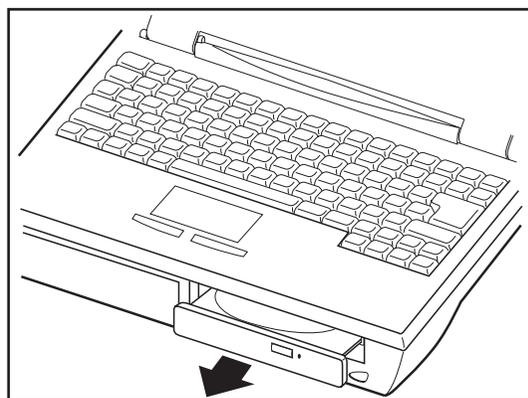
2 イジェクトボタンを押す

イジェクトボタンを押したら、ボタンから手を離してください。CD-ROMトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。



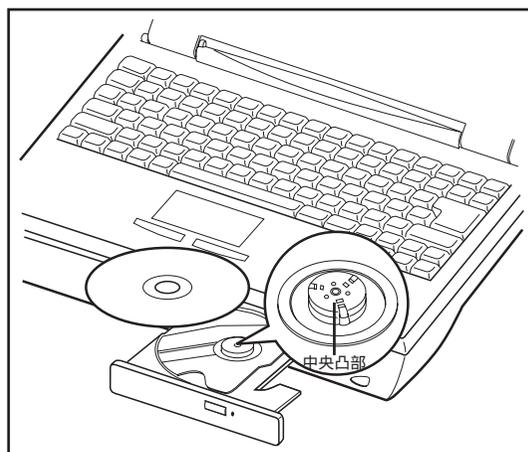
3 CD-ROMトレイを引き出す

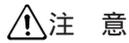
CDをのせる面がすべて出るまで、引き出します。



4 文字が書いてある面を上にして、CDの穴の部分を中心凸部分に合わせ、上から押さえてセットする

「カチッ」と音がして、セットされていることを確認してください。

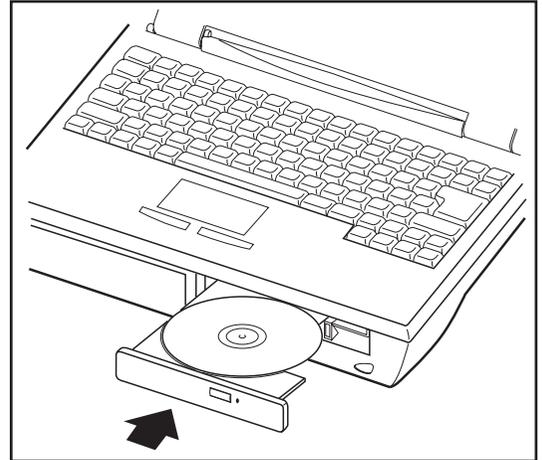




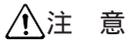
注意

- ・CD-ROMトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。CD-ROM装置の故障の原因になります。
- ・CDをCD-ROMトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- ・CDを正しくCD-ROMトレイにセットしないと、CDを傷つけることがあります。

- 5 「カチッ」と音がするまで、CD-ROMトレイをCD-ROM装置に押し戻す



CDの取り出し

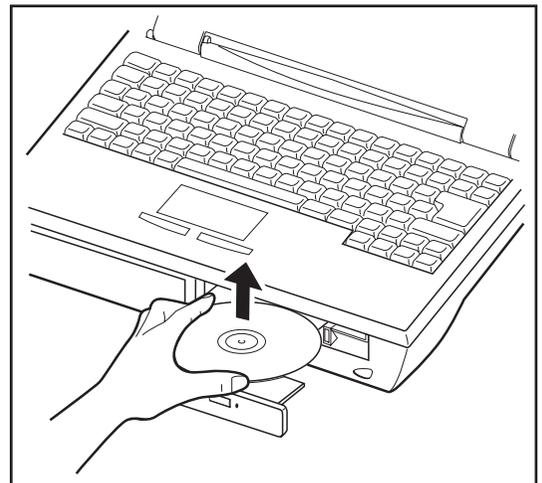


注意

- ・CD-ROMが動作している間は、CDを取り出さないでください。CDのデータやCD-ROM装置がこわれるおそれがあります。

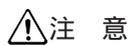
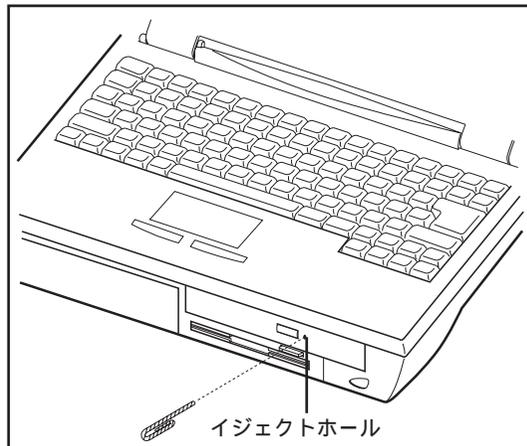
お願い ・パソコン携帯時は、CD-ROM装置に入っているCDは取り出してください。

- 1 パソコン本体の電源を入れる
- 2 イジェクトボタンを押す
CD-ROMトレイが少し出てきます。
- 3 CD-ROMトレイを引き出す
CDをのせる面がすべて出るまで、引き出します。
- 4 CDの両端をそっと持ち、上に持ち上げて取り出す
CD-ROMトレイからCDを取り出します。
CDを取り出しにくいときは、中央凸部を少し押ししてください。簡単に取り出せるようになります。



5 「カチッ」と音がするまで、CD-ROMトレイを押し戻す

メモ：電源を切っているときにイジェクトボタンを押しても、CD-ROMトレイは出てきません。故障などで電源が入らない場合は、CD-ROM装置のイジェクトホールを、先の細い、丈夫なもの（例えば、クリップを伸ばしたもの）で押してください。CD-ROMトレイが出てきます。



・電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。回転中のCDのデータやCD-ROM装置がこわれるおそれがあります。

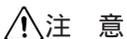
4 PCカード

本製品には、PCカード（別売り）を取り付けることができます。



警告

・ホットインサクションに対応していないPCカードを使用する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから取り付け/取りはずしを行なってください。



注意

・本体に接続して使用している最中や、使用直後のPCカードに長時間ふれないでください。

低温やけどをするおそれがあります。

肌の弱い方は、特にご注意ください。

メモ：市販されているPCカードには、自己発熱の大きいものがあります。このようなカードを長時間動作させていると、自己発熱の影響により、カードの動作が不安定になる場合があります。また、他のカードといっしょに使用すると、熱の影響により、他のカードの動作も不安定になる場合があります。

・ホットインサクション

パソコン本体の電源を入れたままで、PCカードの取り付け/取りはずしをすることをいいます。ただし、PCカードによってはこれに対応した機能のないものがあります。

使用できるPCカードのタイプは、取り付けるスロットによって異なります。

使用スロット	使用可能タイプ
1（上側）	TYPE I / II
0（下側）	TYPE I / II / III

PCカードの例を次にあげます。

- SCSIアダプタ
- メモリカード
- LANカード
- CardBus対応カード

メモ：スロット0にタイプⅢのPCカードを取り付けた場合は、スロット1にPCカードを取り付けることはできません。

⇒『PCカードに付属の取扱説明書』

取り付け

1 PCカードにケーブルを付ける

LANカードやモデムカードなど、ケーブルを接続することが必要なカードの場合は、この作業を行なってください。

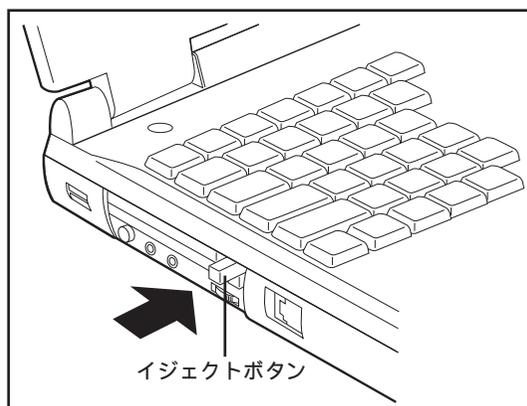
お願い・ケーブルを接続するときは、コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。

2 ダミーカードを取りはずす

ダミーカードは以下の手順にて取りはずしてください。

- ①イジェクトボタンを押す
イジェクトボタンが出てきます。
- ②再度、イジェクトボタンを「カチッ」と音がするまで押す
ダミーカードが少し出てきますので引き出します。

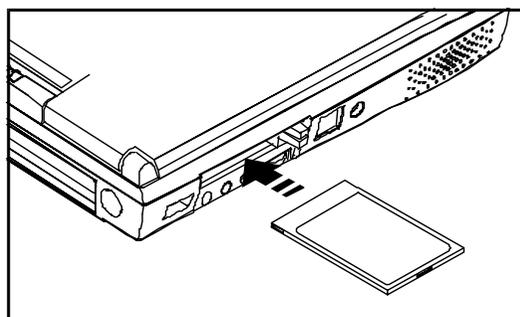
PCカードを取りはずした際は、ダミーカードを再度使用します。なくさないよう大切に保管してください。



3 上下や方向を確認し、PCカードを挿入する

カードを確実に接続するために、無理な力を加えずに静かに押してください。

上のイジェクトボタンは、PCカードスロット1用です。下は、PCカードスロット0用です。

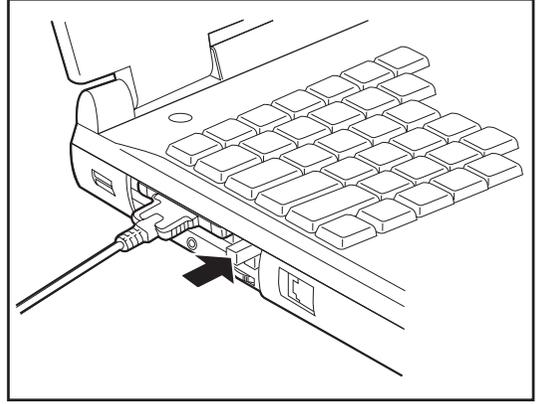


取りはずし

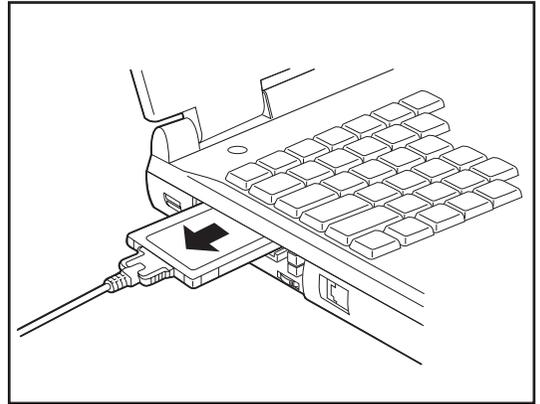
⚠ 注意 ・PCカードの使用終了は必ず行なってください。使用終了せずにPCカードを取りはずすとシステムが致命的影響を受ける場合があります。

お願い・PCカードをアプリケーションやシステムで使用していないことを確認してから取りはずしを行なってください。

- 1 [コントロールパネル]の[PCカード(PCMCIA)のプロパティ]でPCカードの使用を終了する
- 2 取りはずしたいPCカードのイジェクトボタンを押す
イジェクトボタンが出てきます。
- 3 再度、取りはずしたいカードのイジェクトボタンを「カチッ」と音がするまで押す
カードが少し出てきます。

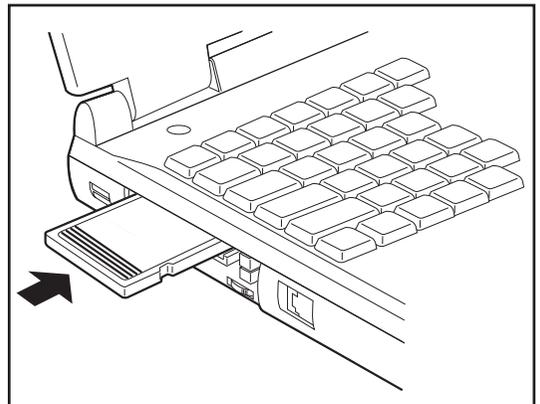


- 4 カードをしっかりとつかみ、引き抜く



注意 ・PCカードには、長い時間使用していると熱を帯びるものがあります。PCカードを取りはずす際に、PCカードが熱い場合は、少し時間をおき、冷めてからPCカードを取りはずしてください。

- 5 ダミーカードを取り付ける



5 増設メモリ

本製品は、増設メモリ（別売り）を取り付けることによって、メモリを増設することができます。

⚠ 警告

・本文中で説明されている部分以外は絶対に分解しないでください。内部には高圧部分が数多くあり、万一触ると危険です。

⚠ 注意

・増設メモリの取り付け/取りはずしを行う場合は、必ず電源を切り、ACアダプタのプラグを抜き、バッテリーパックを取りはずしてから作業を行ってください。電源を入れたまま取り付け/取りはずしを行うと感電、故障のおそれがあります。

・電源を切った直後には、増設メモリの取り付け/取りはずしを行わないでください。増設メモリスロット周辺が熱くなっているため、やけどのおそれがあります。

・増設メモリの取り付け/取りはずしは、電源を切った後30分以上たってから、行うことをおすすめします。

・増設メモリを強く押ししたり、曲げたり、落としたりしないでください。

お願い

- ・増設メモリは、精密な電子部品のため静電気によって致命的損傷を受けることがあります。人間の体はわずかながら静電気を帯びていますので、増設メモリを取り付ける前に静電気を逃がしてから作業を行ってください。手近にある金属製のものに軽く指を触れるだけで、静電気を防ぐことができます。
- ・増設メモリの取り付け/取りはずしは、スタンバイまたは休止状態（ハイバネーション）機能の実行中には行わないでください。
- ・スタンバイまたは休止状態（ハイバネーション）機能は無効になります。

本製品は、あらかじめ増設メモリスロットに32MBのメモリが組み込まれています。メモリを増設する場合は、あらかじめ組み込まれているメモリをはずしてください。増設メモリ容量と合計メモリ容量は以下のとおりです。

増設メモリ容量	合計メモリ容量
64MB	96MB
128MB	160MB

⚠ 注意

・メモリカードを増設されるときは、必ず本製品のオプションをお買い求めください。その他の製品を使用することはできません。もし使用した場合は、パソコン本体が正常に動作しない、または故障の原因になります。

取りはずし

- 1 データを保存し、Windowsを終了させてから電源を切る
- 2 パソコン本体に接続されているACアダプタとケーブル類をはずす
- 3 パソコン本体を裏返し、バッテリーパックを取りはずす
⇒「3章 ①/バッテリーを使う バッテリーパックを交換する」
- 4 増設メモリカバーのネジ2本をはずし、カバーをはずす

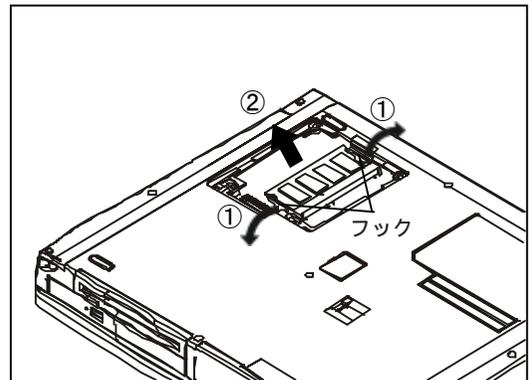
⚠ 警告 ・ステープル、クリップなどの金属や、コーヒーなどの液体を機器内部に入れないでください。ショート、発煙のおそれがあります。万一、機器内部に入った場合は、電源を入れずに、お買い求めの販売店、または東芝PC集中修理センタに点検を依頼してください。

⚠ 注意 ・パソコン本体やメモリのコネクタに触らないでください。コネクタにごみが付着すると、メモリが正常に使用できなくなります。

お願い・ネジをはずす際は、ネジの種類に合ったドライバーを使用してください。

- 5 増設メモリを固定している左右のフックをペン先などで開き、増設メモリをパソコン本体から取りはずす

斜めに持ち上がった増設メモリを引き抜きます。
増設メモリソケットのフックを開く際に他の部品を傷つけないように十分注意してください。



- 6 増設メモリカバーを取り付けて、手順4でははずしたネジ2本をとめる
- 7 バッテリーパックを取り付ける
⇒「3章 ①/バッテリーを使う バッテリーパックを交換する」

取り付け

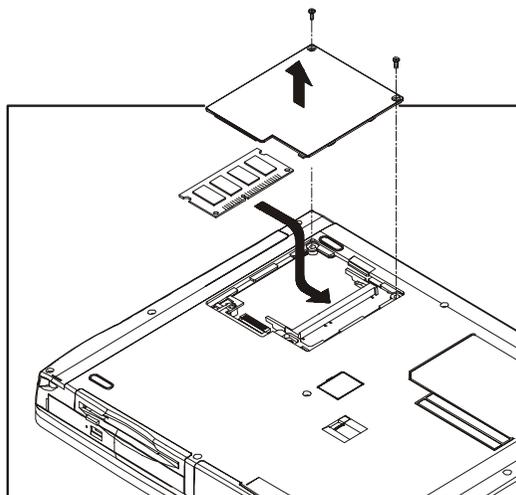
- 1 データを保存し、Windowsを終了させてから電源を切る
- 2 パソコン本体に接続されているACアダプタとケーブル類をはずす

3 パソコン本体を裏返し、バッテリーパックを取りはずす

⇒「3章 [1]バッテリーを使う バッテリーパックを交換する」

4 増設メモリカバーのネジ2本をは

ずし、カバーをはずす



お願い・ネジをはす際は、ネジの種類に合ったドライバーを使用してください。



警告

・ステーブル、クリップなどの金属や、コーヒーなどの液体を機器内部に入れないでください。ショート、発煙のおそれがあります。万一、機器内部に入った場合は、電源を入れずにお買い求めの販売店、または東芝PC集中修理センタに点検を依頼してください。



注意

・パソコン本体やメモリのコネクタに触らないでください。コネクタにごみが付着すると、メモリが正常に使用できなくなります。

5 増設メモリを増設メモリスロットのコネクタに斜めに挿入し、固定するま

で増設メモリを倒す

増設メモリの切れ込みを、増設メモリスロットのコネクタのツメに合わせて、しっかり差し込みます。フックがかりにくいときは、ペン先などで広げてください。

6 増設メモリカバーを取り付けて、手順4ではずしたネジ2本をとめる

7 バッテリーパックを取り付ける

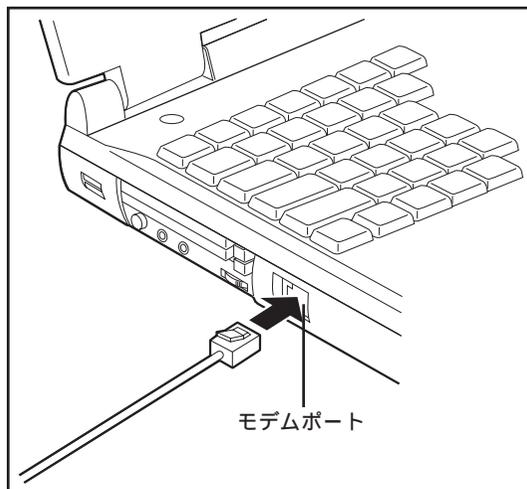
⇒「3章 [1]バッテリーを使う バッテリーパックを交換する」

6 電話回線への接続

内蔵モデムを使用する場合は、2線式の電話回線に接続します。

取り付け

- 1 モジュラーケーブルを使い、モジュラープラグの一方をパソコン本体のモデムポートに差し込む



- 2 もう一方のモジュラープラグを電話機用モジュラージャックに差し込む

⚠ 注意

・内蔵モデムは日本国内専用です。海外でモデムを使用すると故障のおそれがあります。
・内蔵モデムは一般電話回線（アナログ回線）に接続して使用してください。デジタル回線には接続できません。デジタル回線対応の公衆電話のデジタル側やデジタル式交換機（PBX）へ接続すると、故障のおそれがあります。ホームテレホンやビジネスホン用の電話回線には絶対に接続しないでください。

- お願い
- ・モジュラープラグをパソコン本体のモデムポート、電話機用モジュラージャックに接続するときは、「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。
 - ・市販の分岐アダプタを使用して他の機器と並列接続した場合、本モデムのデータ通信や他の機器の動作に悪影響を与えることがあります。
 - ・回線切換器を使用する場合は、両切り式のもの（未使用機器から回線を完全に切り離す構造のもの）を使用してください。

取りはずし

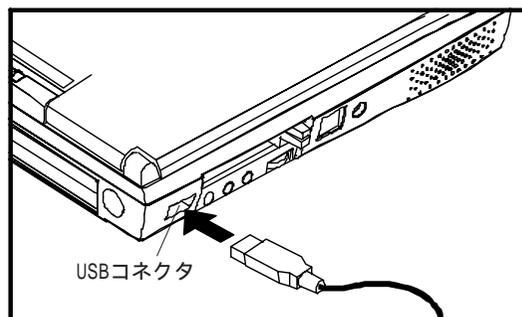
- 1 パソコン本体と電話機用モジュラージャックに差し込んであるモジュラープラグを抜く

7 USB機器の接続

本製品には、USB規格の機器を取り付けることのできる、USBコネクタが用意されています。

取り付け

- 1 USBケーブルのプラグをパソコン本体のUSBコネクタに差し込む



- 2 USBケーブルのもう一方のプラグをUSB機器に差し込む

お願い： ・USB対応の周辺機器を使用するには、OS、および周辺機器用ドライバの対応が必要です。
・今後出荷されるUSB対応の周辺機器については、動作確認ができていないためすべての周辺機器の動作を保証することはできません。

取りはずし

- 1 パソコン本体とUSB機器に差し込んであるUSBケーブルを抜く
⇒USB機器についての詳細→「USB機器に付属の説明書」

5章

便利な機能

1 消費電力を節約する

本製品には、パソコン本体を省電力で使うための機能が用意されています。これらの機能を使うと、使用目的や環境に合わせて簡単に省電力設定が行えます。

省電力設定を行なうことによって、パソコン本体のバッテリー消費電力を抑え、より長い時間お使いいただけます。

[電源の管理] の起動方法

Windows 98では使用目的や環境に合わせて電源管理に関する設定を行なうことができます。[電源の管理] プロパティでは、さまざまな場合に応じて使用環境を記憶し、簡単に変更することができます。このような複数の使用環境を電源設定として作成したり、電源設定の切り替え機能を提供するのが電源の管理です。

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源の管理]をダブルクリックする



[電源設定] タブ

使用目的や使用環境（モバイル、会社、家など）に合わせて複数の電源設定を作成できます。環境が変化したときに電源設定を切り替えるだけで、簡単にコンピュータの電源管理を変更することができ、快適にご使用いただけます。

また、システムスタンバイ状態に移行するまでのシステムアイドル時間やモニタの電源を切るまでの待ち時間、ハードディスクの電源を切るまでの待ち時間も設定できます。

※電源の管理のプロパティを変更した後は、設定を有効にするためにシステムを再起動してください。

[アラーム] タブ

バッテリー残量が少なくなったときの、ユーザに通知するためのサウンドやメッセージおよび動作を設定します。

[電源メーター] タブ

バッテリー残量などのバッテリー情報を表示しています。

[詳細] タブ

電源メーターのタスクトレイへの表示、スタンバイ状態から復帰するときのパスワード入力の有無を設定できます。

また、コンピュータを閉じたときと電源ボタンを押したときの動作を設定できます。

[休止状態] タブ

休止状態（ハイバネーション）の使用の有無を設定します。

本製品は補助バッテリーを搭載していないため

スタンバイ、休止状態（ハイバネーション）中のバッテリーの交換はできません。

スタンバイ、休止状態（ハイバネーション）中にバッテリーの交換をすると、保持されていたデータはすべて消去されます。

- お願い
- ・スタンバイモード／休止状態（ハイバネーション）から通常モードに戻るときは、パソコン本体のPower LEDが点滅しはじめてから10秒以上待って操作してください。
 - ・また、休止状態（ハイバネーション）から通常モードに戻るときは、休止状態になってから10秒以上待ってから操作してください。
 - ・スタンバイモード／休止状態（ハイバネーション）になった直後に通常モードに戻るとシステムに負担がかかり、動作が不安定になることがあります。
 - ・使用するアプリケーションの動作状態や、使用する増設機器、周辺機器によっては、アプリケーションが正常に動作しなかったり、省電力モードからの復帰ができないことがあります。
 - ・この場合はスタンバイモード／休止状態（ハイバネーション）を使用しないでください。
 - ・システムの変更作業（ドライバやプリンタ、ネットワークのセットアップなど）をする場合は、スタンバイモード／休止状態（ハイバネーション）を使用しないでください。作業途中で省電力モードになると、復帰後の動作が不安定になることがあります。
 - ・Windows 98で使用しているときに「コンピュータは、何度か待機状態になり、応答を停止しました。今後、待機状態にならないようにしますか？」と表示された場合は、[いいえ]を選択してください。

- メモ
- ・スタンバイや休止状態（ハイバネーション）から復帰する場合は、電源スイッチを押してください。

2 簡単インターネット

簡単インターネットは、インターネットを初めて行う方のために、本製品にあらかじめインストールされています。各インターネットプロバイダ接続用（オンラインサインアップ用）アプリケーションを簡単に選択、実行することができます。

起動方法

1 モデムと電話回線を、モジュラーケーブルで接続する

⇒「4章 ⑥電話回線への接続」

2 デスクトップ上にある [簡単インターネット] アイコン () をダブルクリックする

「モデムと電話回線が、モジュラーケーブルで正しく接続されていることを確認し、[OK] ボタンを押してください」と表示されます。

3 確認し、[OK] ボタンをクリックする



(注) 画面は一例です。

プロバイダ一覧

本製品にインストールされている、インターネット接続アプリケーションを提供しているプロバイダの一覧です。入会したいプロバイダを選択します。

ダイヤル方式

お使いの電話回線のダイヤル式（パルス（ダイヤル回線））、もしくはトーン（プッシュ回線））を選択します。

外線発信番号

市内通話：市内通話で外線に電話をかけるときにダイヤルする番号を入力します。

市外通話：長距離通話で外線に電話をかけるときにダイヤルする番号を入力します。

外線に電話をかけるときに、特定の番号をダイヤルする必要がない場合は、両方のボックスを空白のままにしておきます。

接続開始

接続されたプロバイダのインターネット接続用アプリケーションを起動します。インターネット接続用アプリケーション起動後は、各アプリケーションの指示に従って操作を行ってください。

お願い・インターネットのアクセスは、そのアクセスに応じた電話料金、およびプロバイダへのアクセス料金がかかります。また、プロバイダによっては加入料金、月額の基本料金がかかります。プロバイダへ加入するときは、そのプロバイダへの料金体系などをご確認のうえ加入してください。

6章

BIOSセットアップ

本章では、BIOSセットアッププログラムの使い方と機能について説明します。

BIOSセットアッププログラムを使って、パソコン本体のシステムの構成の設定や、パスワードの登録／削除などができます。

1 BIOSセットアップとは

BIOS（バイオスと読みます）セットアップとは、パスワードやハードディスク、周辺機器の使い方などを本体に設定するプログラムのことです。

BIOSセットアップで設定された情報は、CMOS-RAMと呼ばれる特殊なメモリに保存され、電源を切っても設定した内容が消失しないように内蔵バッテリーで保持されます。メモリの増設やハードディスク装置の増設等の変更をしない限り、1度BIOSセットアップを行えば以降は必要ありません。ただし、内蔵バッテリーが消耗または電池交換を行なった場合は、BIOSセットアップは既定値に戻りますので、設定した内容はメモをとるなどして忘れないようにしてください。

メモ・BIOSセットアップ画面は英語表示のみです。日本語での、項目/説明の表示はありません。

BIOSセットアップの起動方法

1 電源を入れた直後(起動時)に **[F2]** キーを押し続ける

起動時に、次の「TOSHIBA」画面が表示されます。セットアップ画面が表示されたら **[F2]** キーを離してください。

お願い・**[F2]** キーの入力が受け付けられるのは、パソコンの電源を入れてから数秒間です。
・この時間内に **[F2]** キーを押し続けないと、システムが起動します。
・BIOSセットアップが起動できなかった場合は、システムを再起動し、手順1をやり直してください。

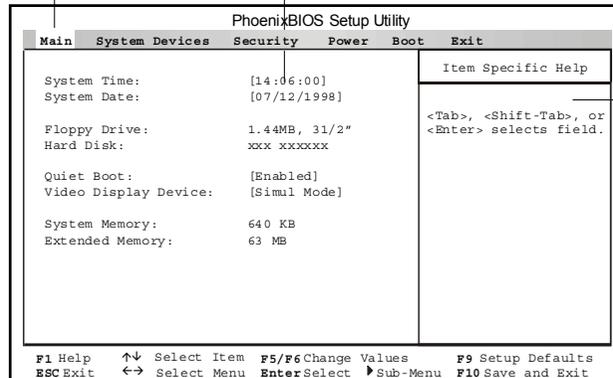
The image shows the TOSHIBA logo in a large, bold, black, sans-serif font, centered within a white rectangular box with a thin black border.

BIOSセットアップの操作方法

BIOSセットアップ画面について

メニューバー

現在開いているメニューは青文字で表示されます。メニューを移動するには、**←** **→**キーを押します。



[]で囲まれている項目は、設定値を変更することができます。ただし、灰色に表示されている項目は、変更できない状態です。

選択している項目の説明が表示されます。

使用するキーについて

BIOSセットアップでは、タッチパッドやマウスが使用できないため、キーボード上のキーで、メニューや項目の移動、値の入力などを行います。ここでは、BIOSセットアップで主に使用するキーについて説明します。

[F1]、**[Alt] + [H]** キー

BIOSセットアップの説明と操作方法（[General Help]）を表示します。画面上下の、表示されていない部分を見るには、**[PageUp]**、**[PageDown]** キーを使います。**[General Help]**を閉じるには、もう一度**[F1]** キーまたは**[Alt] + [H]** キーを押します。

← キー

1つ前の項目に移動します。

→ キー

1つ先の項目に移動します。

↑ キー

1つ前のメニューに移動します。

↓ キー

1つ先のメニューに移動します。

[Home]、**[PageUp]** キー

メニューの最初の項目に移動します。

End、**PageDown** キー

メニューの最後の項目に移動します。

F5 キー

1つ前の項目に移動したり、選択している設定を1つ戻します。

F6、**Space** キー

1つ先の項目に移動したり、選択している設定を1つ進めます。

Enter キー

サブメニューや設定値の一覧を表示したり、設定値の選択をします。

F9 キー

BIOSセットアップの全項目を、既定値に戻します（パスワードを除く）。

F9 キーを押すと、「Load default Configuration now?」というメッセージが表示されます。既定値に戻す場合は、[Yes]を、戻さないでセットアップを続ける場合は[No]を選択します。

F10 キー

現在の設定を保存し（CMOS-RAMに書き込み）、BIOSセットアップを終了して、システムを起動します。

F10 キーを押すと「Save Configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。設定を保存して終了する場合は、[Yes]を、保存しないでセットアップを続ける場合は[NO]を選択します。

Esc キー

[Exit]メニューを表示します。サブメニューの中では、1つ前の状態に戻したり1つ前の画面を表示します。